

No.	卒業年	受賞者氏名	タイトル	会報 No.
1	昭和50年	寺本 礼子	THE DAIKANYAMA COMPLEX	5
2	昭和51年	板谷 龍二郎	THE CANAL	6
2	昭和51年	春藤 和明	出版物歴史館及情報センター	6
3	昭和52年	福嶋 敏夫	THE PARK END -YOKOHAMA	7
4	昭和53年	大井 立夫	COLLAPSING GALLOP	8
5	昭和54年	有田 修一	横浜橋コミュニティ計画	9
6	昭和55年	小原沢 俊之	さかみちーアート・コンプレックス計画(横浜西区紅葉坂)	10
7	昭和56年	草場 藤太	横浜市立野毛山図書館計画	11
8	昭和57年	神作 和生	横浜海洋博物館	12
9	昭和58年	滝川 智庸	横浜市民プラザーアトリウムのある建物	13
10	昭和59年	泊 真一郎	死の祭壇ー鹿児島市火葬場	14
11	昭和60年	猪井 政広	輝境ー自己形成のための研修施設	15
12	昭和61年	松村 茂久	「道の保存」桜木再開発	16
13	昭和62年	松崎 宏二	アイルモレ	17
14	昭和63年	西澤 立衛	テンション	18
15	平成元年	古谷 寿紀	シチュエーション×8	19
16	平成2年	高橋 潤	野毛芝居町	20
17	平成3年	有泉 朋子	誰がために	21
18	平成4年	大村 紋子	じゃあどうするか ～坂東橋周辺地区の外気をデザインする～	22
19	平成5年	吉村 寿博	十二の工房	23
20	平成6年	宮田 聡夫	終着駅	24
21	平成7年	野村 啓一	埋め立ての彼方へ	25
22	平成8年	久山 幸成	P-underground	26
23	平成9年	岸本 宣彦	Plate地核を変えるということ	27
24	平成10年	山田 つばさ	b・museum	28
25	平成11年	谷田 明義	VOLUNTARY SCHOOL	29
26	平成12年	仲野 安紗	都市のしるし	30
27	平成13年	山口 瑠美子	Neo Suburb Life Style	31
28	平成14年	垣内 崇佳	Public in Private	32
29	平成15年	宝田 麻理子	VERTICAL SOLUTION	33
30	平成16年	野尻 真伸	Y.U.A	34
31	平成17年	崔 熙元	continue	35
32	平成18年	佐藤 未季	Polyrhythm	36
33	平成19年	安藤 祐子	OURSーひらいた海ー	37
34	平成20年	池谷 夏奈子	立ち上がる森	38
35	平成21年	北林 さなえ	雪のさんかく	39
36	平成22年	二宮 佑介	カジュアル・マーケット	40
37	平成23年	浜辺 隆博	MADIA LANDSCAPE～メディアをたどる風景～	41
38	平成24年	後藤 祐作	いざないの煙突	42
39	平成25年	館 真弘	流れにほどける工房	43
40	平成26年	ファム ゲット ア	都市の中の村	44
41	平成27年	板谷 優志	トロッコの現代集落 パッチワークのようにつらなる生活の風景	45
42	平成28年	諸星 佑香	町の中庭ー密集した住宅地での 生活に新たな習慣をつくるー	46
43	平成29年	鈴木 菜摘	とむらいRIDGWAYー現代の墓前街道ー	47
44	平成30年	池谷 浩樹	都市の中庭ー密着地帯において取り残された 空地を新たな文化の発信地とするー	48
45	平成31年	金 俊浩	近代集落再考ー住宅を乗り越える 新たな集落の姿を目指してー	49
46	令和2年	小野 正也	頂上広場が街暮らしのビジョンを映す ー丘の低速交通・歩行空間化ー	50
47	令和3年	河野 美紀	いつまでもこの街は私の実家。 ーこれからの郊外住宅地での暮らしかたー	51

No.	卒業年	受賞者氏名	タイトル	会報 No.
48	令和4年	皆川 しずく	海、防潮堤、暮らし ー漁業集落と防潮堤の新しいあり方ー	52
48	令和4年	藤本 梨沙	諦めない人生を支える、まちの大給食室 ー理想社会の原型となる大拠点の提案ー	52